

これまでに非小細胞肺癌でEGFR遺伝子変異の検索を受けた患者さんへ 【過去の治療データの調査研究への使用のお願い】

筑波記念病院呼吸器内科では筑波大学附属病院水戸地域医療教育センターを研究代表施設とし「EGFR 陽性非小細胞肺癌の年齢に関する調査：多施設後方視研究」という臨床研究を行っております。この研究では、非小細胞肺癌において、EGFR 遺伝子変異陽性群と陰性群の年齢分布の違いについて調べることを目的としております。そのため、過去に非小細胞肺癌でEGFR 遺伝子変異の検索を受けた患者さんのカルテ等の臨床データを使用させていただきます。

以下の内容を確認してください。

○この調査研究は筑波記念病院倫理委員会で審査され、病院長の承認を受けて行われます。

研究期間

2024年1月29日 ~ 2024年7月31日まで

対象調査期間

2020年4月1日 ~ 2023年12月31日まで

- 今回の調査研究の対象はこれまでに非小細胞肺癌でEGFR 遺伝子変異の検索を受けた患者さんのカルテ、レントゲン写真等です。
- 過去のデータを使用する研究であり、新たな検査や費用が生じることはなく、また、データを使用させていただいた患者さんへの謝礼等もありません。
- 使用するデータは、個人が特定されないよう匿名化を行い、個人情報に関しては厳重に管理します。
- 調査研究の成果は、学会や科学専門誌などの発表に使用される場合がありますが、名前など個人を特定するような情報が公表されることはなく、個人情報は守られます。
- 調査研究の結果、特許などの知的財産が生じる可能性もございますが、その権利は筑波記念病院に帰属し、あなたには帰属しません。
- この調査研究は、特定の企業・団体等からの支援を受けて行われるものではなく、利益相反状態にはありません。

もし、今回のデータ使用について同意をいただけない場合には、いつでも構いませんので、お手数ですが下記の問い合わせ先まで連絡ください。

また、同意の有無が今後の治療などに影響することはありません。

【問い合わせ先】

筑波記念病院 呼吸器センター長

研究責任者：坂本 透

TEL：029-864-1212(代) FAX：029-864-8135